

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	自転車利用の更なる促進		事業実施主体	市
	事務事業	放置自転車等対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	快適で安全なまちづくりを目指すため、放置自転車等の警告、移送、保管、返却、処分等を行う。		
概要	3年度 放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間248日行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	放置自転車の禁止区域
意図(どのような状態にしたいか)	放置自転車を減少させ、交通の円滑化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
放置自転車警告撤去回数	回	168	168	168	168	168

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	放置自転車警告件数	台	目標値	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
			実績値	47,238	35,386	32,513		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	広報やポスターなどによる放置自転車対策に関する周知・啓発に努めたことにより、目標を十分に達成することができた。	(目標達成度)	150.0%	35点				
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	45,492	44,095	43,877	44,632
(事業費)	[円]	39,820	38,632	38,265	39,020
(職員人件費)	[円]	5,672	5,463	5,612	5,612

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
広報やポスターなどによる放置自転車対策に関する周知・啓発の効果により、令和元年度に比べ放置自転車が減少した。 警告 32,513台 移送 3,067台 返還 1,478台 なお、中心市街地や、鉄道駅周辺における自転車駐車場不足の解消が必要である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
制度の周知・啓発に努め、放置自転車のない快適なまちづくりを進めるための対象区域の拡大や、コスト削減のための撤去回数の見直しを検討する。 また、自転車等駐車対策総合計画について、新型コロナウイルス対策に伴う新しい生活様式を踏まえた、次期計画を策定する。			

令和 3年度 ( 2年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	自転車利用の更なる促進		事業実施主体	市
	事務事業	駐輪場整備事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	自転車等の利用者の利便を図るとともに、放置自転車を減少させるため、自転車等駐車を整備する。		
3年度概要	民間駐輪場補助事業 ( 継続 7 件 3 3 3 台 )		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象 ( 何を )	整備が必要な駅及び商店街
意図 ( どのような状態にしたいか )	市内の放置自転車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名 ( 具体的にどのような活動をしたか )	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
新規駐輪場整備台数	台	100	0	0	10	10
民間駐輪場への補助金交付件数	件	7	7	7	8	8

【事業の成果】

成果指標名 ( どのような成果が得られたか )	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数	台	目標値	11,252	11,252	11,252	11,252	11,252
		実績値	11,234	11,234	11,234		
成果指標の達成度 ( 目標に対してどれだけ達成できたか ) 目標台数を達成するため、鉄道事業者の協力も得ながら、今後とも駐輪場の整備に努めていきたい。 ( 目標達成度 )						( 達成度 ) 99.8% 34点	
補助駐輪場の収容台数	台	目標値	333	333	380	380	380
		実績値	333	333	333		
成果指標の達成度 ( 目標に対してどれだけ達成できたか ) 目標台数を達成するため、商店街振興組合と連携し、引き続き商店街駐輪場の確保に努めたい。 ( 目標達成度 )						( 達成度 ) 87.6% 30点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度 ( 決算 )	平成 31年度 ( 決算 )	令和 2年度 ( 決算 )	令和 3年度 ( 予算 )
トータルコスト	[ 円 ]	11,589	9,896	24,695	9,325
( 事業費 )	[ 円 ]	9,094	8,075	22,899	7,529
( 職員人件費 )	[ 円 ]	2,495	1,821	1,796	1,796

【評価】

評価ランク ( A ~ D )	B	今後の方向性 ( 拡充、継続、改善継続、縮小、廃止 )	継続
【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )			
商店街の駐輪場の補助を行うとともに、JR端岡駅前自転車駐輪場入出場ゲート及びJR鬼無駅自転車駐輪場区画線の整備を行った。なお、商店街や、鉄道駅周辺における自転車駐輪場不足の解消が必要である。			
【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入 )			
駐輪場内の放置自転車対策や駐輪場利用者のマナー向上の啓発など、ソフト施策を進めるとともに、鉄道事業者等の協力を得ながら駐輪場整備に努める。また、自転車等駐車対策総合計画について、新型コロナウイルス対策に伴う新しい生活様式を踏まえた、次期計画を策定する。			